



平成 21 年 4 月 14 日

各 位

会 社 名 株式会社 ウエストホールディングス  
本社所在地 広島市西区楠木町一丁目 15 番 24 号  
代 表 者 代表取締役社長 吉 川 隆  
(コード番号：1407)

問 合 せ 先 <広島本社>  
代表取締役専務 広島本社管理統括本部管掌  
永 島 歳 久  
電話番号 082-503-3900 (代表)

<東京本社>  
常 務 取 締 役 東京本社管理統括本部管掌  
池 田 直 人  
電話番号 03-5358-5757 (代表)

## 平成 21 年 8 月期第 2 四半期累計期間（連結・個別）業績予想との差異 及び通期（連結）業績予想の修正に関するお知らせ

平成 20 年 10 月 10 日付当社「平成 20 年 8 月期決算短信」において発表いたしました平成 21 年 8 月期（平成 20 年 9 月 1 日～平成 21 年 8 月 31 日）の第 2 四半期累計期間（連結・個別）（平成 20 年 9 月 1 日～平成 21 年 2 月 28 日）及び通期の連結業績予想を下記のとおり修正いたします。

記

### 1. 平成 21 年 8 月期 連結業績予想の修正等

(1) 第 2 四半期累計期間（平成 20 年 9 月 1 日～平成 21 年 2 月 28 日） (単位：百万円)

	売 上 高	営業利益	経常利益	四半期純利益
前 回 発 表 予 想 (A)	9,576	325	240	128
今 回 修 正 予 想 (B)	8,921	△63	△209	△720
増 減 額 (B-A)	△655	△389	△449	△849
増 減 率	△6.9%	—	—	—
(ご参考) 前期実績 (平成 20 年 8 月期第 2 四半期)	16,139	322	102	△757

(2) 通 期（平成 20 年 9 月 1 日～平成 21 年 8 月 31 日） (単位：百万円)

	売 上 高	営業利益	経常利益	当期純利益
前 回 発 表 予 想 (A)	20,359	1,174	1,017	804
今 回 修 正 予 想 (B)	22,158	754	558	37
増 減 額 (B-A)	1,799	△420	△459	△767
増 減 率	8.9%	△35.8%	△45.1%	△95.4%
(ご参考) 前期実績 (平成 20 年 8 月期通期)	27,375	547	196	△2,140

### (3) 業績予想修正の理由

#### 1. 第2四半期累計期間（平成20年9月1日～平成21年2月28日）

1) 売上高は、以下の主要因により当初予想比6億55百万円減の89億21百万円となりました。

- ① 住宅リフォーム事業は、建物保全型リフォーム（屋根、外壁、耐震工事等）が、消費の急激な低下に対応しきれず計画比未達となりましたが、家電量販店の代理店方式による太陽光発電システム及びオール電化製品の販売・施工が計画を上回る伸びを示した結果、売上高は当初予想比1億2百万円増の69億90百万円となりました。
- ② 戸建住宅事業は、㈱明野住宅の分譲住宅販売について、北摂圏における戸建住宅市況が当初の予想を上回る悪化によって、売上高は当初予想比6億22百万円減の7億17百万円となりました。
- ③ 土地・建物開発事業は、不採算工事の受注を抑制したため、売上高は当初予想比1億75百万円減の7億59百万円となりました。

2) 営業損失は、以下の主要因により当初予想比3億89百万円減の63百万円となりました。

以下、事業の種類別セグメントに分けて説明いたします。

- ① 住宅リフォーム事業は、粗利益率の高い建物保全型リフォームの売上高が当初予想よりも落ち込んだことを主因として、営業利益は当初予想比4億66百万円減の4億4百万円となりました。
- ② 戸建住宅事業は、㈱明野住宅の売上高が当初予想よりも落ち込んだこと、有利子負債を削減する目的で3月中旬に大阪府内所在の仕掛在庫を他の事業者に一括売却したことにより生じた96百万円の売却損を「棚卸資産の評価に関する会計基準」（企業会計基準第9号）の適用に伴い売上原価に評価損として計上したことにより、営業損失は当初予想比2億17百万円減の1億48百万円となりました。
- ③ 土地・建物開発事業は、平成20年12月に着手した松本建設㈱の人員減を初めとした費用削減により黒字転換し、営業利益は当初予想比57百万円増の14百万円となりました。
- ④ 全社共通経費は、全般的な人件費・経費の削減により当初予想比2億12百万円の減少となりました。

3) 経常損失は、上記の要因に加えて優先株式等の発行による株式交付費86百万円（株式引受手数料45百万円、弁護士費用を含むアドバイザー手数料35百万円、登記費用等6百万円）を営業外費用に計上したため、当初予想比4億49百万円減の2億9百万円となりました。

当期純損失は、上記の要因に加えて第1四半期連結会計期間より「棚卸資産の評価に関する会計基準」（企業会計基準第9号）を適用し、期首棚卸資産に含まれる変更差額を特別損失として3億72百万円計上したことにより、当初予想比8億49百万円減の7億20百万円となりました。

第2四半期累計期間の実績を踏まえ、通期の連結業績予想も見直し修正いたします。

#### 2. 通期（平成20年9月1日～平成21年8月31日）の見通し

1) 売上高は、以下の主要因により予算比17億99百万円増の221億58百万円となる見通しであります。

- ① 建物保全型リフォームは、消費の低迷の影響を受け、急回復することは見込めないものの、売上高減少に歯止めがかかり、横ばい状態が続く見通しです。一方、環境対応型リフォームは、本日開示（「当社子会社と株式会社ヤマダ電機との業務提携に関するお知らせ」）したヤマダ電機との業務提携による全国規模での展開（含む代理店方式）が急拡大するとともに、サンテックパワー社との継続的商品取引による太陽光発電システムの安定的仕入れが可能となったことから、住宅リフォーム事業全体での売上高は当初予想比38億24百万円増の185億47百万円となる見通しです。
- ② 戸建住宅事業は、最近の不動産市況の悪化を主因として、先行きの回復が厳しいものと判断し、販売要員を大幅に絞り込んだことにより、売上高は当初予想比12億66百万円減の11億10百万

円となる見通しです。

- ③ 土地・建物開発事業及び土木事業は、最近の不動産市況の悪化を踏まえて、引き続き不採算工事受注を抑制して運営することから、売上高は当初予想比 7 億 85 百万円減の 24 億 73 百万円となる見通しです。

2) 営業利益は、以下の主要因により当初予想比 4 億 20 百万円減の 7 億 54 百万円となる見通しであります。

- ① 粗利益率の高い建物保全型リフォームの第 2 四半期までの減少は、消費の低迷を勘案し、下期に回復することは難しく、通期でも営業利益は当初予想比 7 億 81 百万円の減少となるものの、ヤマダ電機との業務提携の効果による環境対応型リフォームの営業利益が当初予想比 4 億 65 百万円増加しこれを補い、住宅リフォーム事業全体では、通期で当初予想比 2 億 55 百万円減の 18 億 37 百万円となる見通しです。
- ② 戸建住宅事業は、(株)明野住宅の仕掛用不動産の売却損失を補うだけの収益回復が見込まれず、当初予想比 2 億 51 百万円減の営業損失 1 億 27 百万円となる見通しです。
- ③ 土地・建物開発事業及び土木事業は、松本建設(株)及び(株)桜井エンジニアリングの人員減等の経費削減により、当初予想比 28 百万円増の 42 百万円となる見通しです。

3) 経常利益は、銀行借入を 14 億 64 百万円返済し金融収支の改善に努めたものの、前記営業利益の減少や仕掛用不動産の売却損失等により、当初予想比 4 億 59 百万円減の 5 億 58 百万円となる見通しであります。

また当期純利益は、営業利益・経常利益の減少に加えて、第 2 四半期までに計上した特別損失をカバーしきれず、当初予想比 7 億 67 百万円減の 37 百万円となる見通しであります。

## 2. 平成 21 年 8 月期 個別業績予想の修正等

(1) 第 2 四半期累計期間 (平成 20 年 9 月 1 日～平成 21 年 2 月 28 日)

(単位：百万円)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益
前回発表予想 (A)	555	27	7	7
今回修正予想 (B)	579	53	△44	△30
増減額 (B-A)	24	26	△51	△37
増減率	4.4%	99.9%	—	—
(ご参考) 前期実績 (平成 20 年 8 月期第 2 四半期)	557	88	55	△762

(2) 業績予想修正の理由

第 2 四半期累計期間の売上高・営業利益は、子会社から収受する業務受託収入が、当社でのコンプライアンス業務を充実したことにより期初の見込みを上回ったためであります。経常利益は、優先株式等の発行による株式交付費 86 百万円を営業外費用に計上したため、当初予想比 51 百万円減となり経常損失 44 百万円、また当期純利益につきましては、保険解約返戻金 32 百万円により当初予想比 37 百万円減の当期純損失 30 百万円となりました。

- ・通期の業績予想につきましては、業績予想の修正はしておりません。
- ・配当予想に関して、当初の予想から変更はありません。

※ 上記の予想は本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであります。実際の業績は、今後様々な要因によって予想数値と異なる可能性があります。

以 上